

2020年度 第2回 公共政策学研究会

# 救急業務の実際と課題

近年、全国的に救急出動は増加の一途をたどっています。札幌市においても令和元年には、はじめて救急出動件数が10万件を突破。救急出動増加の要因の一つには、高齢化社会の影響が挙げられます。そこで、高齢者を取り巻く救急出動の実際を現場経験者に報告していただき、政策的対応について提言を伺い、参加者とディスカッションする機会を設けます。公共政策大学院関係者の皆様、救急体制や関連政策に興味がある皆様の参加をお待ちしております。

**報告者：佐々木 広一 氏**

広島国際大学 保健医療学部救急救命学科 准教授  
(HOPS 12期修了生)

**日時：**2020年8月6日(木) 16:30～18:00

**媒体：**Zoomによるオンライン開催

**申込：**公共政策大学院のウェブサイトに掲載する申込フォームより  
氏名・メールアドレス等をご登録ください。

**申込期限：**8月3日(月) 17:00

※登録の際は必ずサイト上の「参加にあたっての注意・免責事項」をご確認ください。

